



赤米サミット終了後に行われた記念撮影。新本小学校の児童の前で力を合わせて日本遺産認定を目指すことを誓った(写真上)。赤米サミットin新本の様子。同小の児童や各地域の保存会のメンバーの前で、赤米の日本遺産認定について話し合われた(写真右)



新本で行われた相川さんと新本小学校の児童らによる赤米の田植え。角谷琉空さん(同小5年生)は、「田植えは初めてだったけどとても楽しかった。おいしい赤米になるように、元気に育てほしい」と笑顔で話した

赤米文化を保存、継承していくため、さらなる交流を図ろうと、赤米サミットin新本が6月15日、新本小学校で開催されました。平成26年3月に、「赤米伝統文化交流協定」を締結した長崎県対馬市と鹿児島県南種子町、総社市の首長や各地域の保存会のメンバーが出席。3市町で赤米大使を務める歌手の相川七瀬さんも参加し、互いに協力しながら赤米文化を守っていくことを再確認しました。

サミットのテーマは、「伝えゆくものゝ歴史のバトンを子どもたちへ」。各地域で取り組んでいる、赤米の伝承活動の報告が行われました。また、赤米の日本遺産認定への意見交換が行われ、全会一致で採決。赤米の伝統を受け継ぐ同小学校の児童の前で「赤米の伝

※日本遺産：地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを認定し、国内外への魅力発信や地域活性化を図る文化庁の事業。今年4月に18件を、「日本遺産」として初認定した。2020年の東京オリンピックまでに100件程度の認定を目指す。

承し、力を合わせて日本遺産の認定を目指す」とする旨のサミット宣言を行いました。相川さんは、「歴史のバトンを次世代へつなぐことは大切なこと。赤米を国内外へ発信するため、力を合わせ取り組んでいきたい」と述べました。

サミット終了後、相川さんと同小学校の5年生8人、新本本庄赤米保存会のメンバーらが、本庄国司神社(新本)の神田で赤米の田植えをしました。児童らは田んぼのぬかるみに足を取られながらも、丁寧に苗を植え付け、伝統を守る決意を新たにしていました。

前日の14日には、相川さんと赤米の田植えをするイベントが備中国分寺南のほ場で行われ県内外から155人が参加しました。

# 赤米サミットin新本 赤米の伝統を後世へ伝える

赤米文化を守り、次世代に継承していくことと、赤米サミットin新本を開催。「赤米伝統文化交流協定」を結ぶ3市町が力を合わせ、赤米の日本遺産の認定を目指していくことと、心を一つにしました。

問い合わせ 文化課文化財係 (☎028363)

## 被災地支援「そうじゃ・宮城っ子基金」

贈呈式



6月9日、都市センターホテル(東京都)で奥山宮城県市長会会長へ、被災した小学生や障がい児らへのプロ野球観戦1500人分の招待券を手渡す片岡市長



震災に遭った宮城の子どもに笑顔を

## 「そうじゃ・宮城っ子基金」 新たな支援のかたち

問い合わせ 政策調整課 (☎028213)

総社市では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、両親を失った震災当時中学生以下の宮城県内の子どもに対し、市内外から集まった募金を「そうじゃ・宮城っ子基金」として、1人年間10万円を5年間支給する支援を行ってきました。

「そうじゃ・宮城っ子基金」による支援は当初予定していた5年間を経過しました。皆さまからいただいた募金の今後の活用について、宮城県市長会の奥山恵美子会長と協議。このことを受け、5月21日に開催された東日本大震災支援対策会議で、2つの事業へ移行することが決定しました。

### 被災地支援「そうじゃ・宮城っ子基金デー」 被災した子どもらを、プロ野球観戦へ招待 & 野球少年団チームの交流試合を開催

被災地支援 そうじゃ・宮城っ子基金交流事業

宮城県内の子どもらを、6月28日に仙台市のコボスタ宮城で開かれる、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの試合観戦に招待することにしました。「そうじゃ・宮城っ子基金」をとおして支援を行っていた79人のほか、親や親戚を亡くしたり、被害が甚大だった地域の小学生や障がい児など1500人が対象。前日の27日には、仙台市と総社市の野球少年団の交流試合も行われます。

これらは、震災で大きな悲しみを経験した子どもに、スポーツをとおして勇気と希望をもってもらい、また、総社市は今後も引き続き支援を行っていくことを伝えようと企画したものです。



仙台市の野球チームと交流試合を行う、池田スポーツ少年団のメンバー

### 子どもの希望ある未来への成長を応援

震災復興を応援する

## 杜の都・ 仙台絆寄付

「杜の都・仙台絆寄付」への支援移行

復興事業を目的とした仙台市の「杜の都・仙台絆寄付」に、「そうじゃ・宮城っ子基金」の残金を移し、被災した子どもらの支援に役立ててもらいます。今後も、「そうじゃ・宮城っ子基金」を継続させ、いただいた寄付金については、「杜の都・仙台絆寄付」につなげていきます。